

第22回 個性づくりテーマ展示

〈子どもと自然 ～ふられる・学ぶ・遊ぶ～〉



自然のなかには、人間が作りだすことのできない素晴らしいものがたくさんあります。自然のなかには、朝や夜といった一日の時間の流れ、季節の移り変わりの中で五感が磨かれています。

今回の展示では、子どもが自然のなかで活動していくことが成長にどのように関わっているかをテーマにします。

展示期間：2014年12月27日（土）

～2015年2月26日（木）

展示場所：鷺宮図書館 5階 個性展示コーナー

自然が子どもに与える影響



子どもたちの世界は、いつも生き生きとして新鮮で美しく驚きと感激に満ちあふれています。子どもたちが会える事実のひとつひとつが、やがて知識や知恵を生み出す種子だとしたら、様々な情緒やゆたかな感受性は、この種子を育む肥沃な土壌です。幼い子ども時代は、この土壌を耕すときです。

美しいものを美しいと感じる感覚、新しいものや未知なものにふれたときの感激、思いやり、憐れみ、賛嘆や愛情などの様々な形の感情がひとたびよびさまされると、次はその対象についてもっとよく知りたいと思うようになります。そのようにして見つけ出した知識は、しっかりと身につきます。

出典：「センス・オブ・ワンダー」

レイチェル・カーソン／新潮社

自然とのふれ合い方

お子さんの首がすわってたて抱きができるようになったら、気分転換も兼ねて、ちょっと外に出てみるのもいいでしょう。おすわりができるころになると、外遊びが楽しめるようになります。公園への道すがら、花を見たり、小鳥のさえずりを聞いたりするのは楽しいものです。公園に着いたら、芝生の上にシートなどを敷いておすわりをして、いろいろなものを手で触って遊びましょう。はいはいが楽しいころなら、芝生の上で、思い切りはわせるのもいいでしょう。家の中と違いまわりにいろいろなものがあるので、好奇心旺盛な子どもでも、決して厭きることはありません。



外遊びで気をつけたいのは、遊び場での危険から子どもをどう守るかということです。たばこの吸い殻、犬のふん、ごみなど、子どもにとって危ない物、不衛生な物も落ちています。また、見知らぬ人に声をかけられて、事件に巻き込まれる危険もあります。そういったことに注意して、子どもたちが遊んでいて比較的安全な場所が近くにあるか確認しておきましょう。

外遊びのときは、子どももママやパパも汚れてもいい服装で、泥がしみようがかまわないという格好をして行きましょう。ダイナミックに遊ぶのがいちばん楽しいことですから、たっぷり経験させましょう。

四季折々の遊び

春

ぽかぽか陽気を肌で感じ、芽吹いたばかりの緑色の葉っぱや花々を眺めましょう。葉っぱや花々のおいも感じられることでしょ。さわやかなやさしい風を感じながら、芝生の上で駆け回ったり、耳を澄まして小鳥のさえずりを聞くのもいいものです。



夏

外出は、午前中からの日差しが弱い時にし、帽子をかぶり通気性のいい服を着せましょう。

電車の中など冷房が強い所もあるので、上着を1枚用意して。

また、ビニールプールに入ったり、幼児用プールなどでの水遊びで、水の感触を楽しみましょう。

秋

日差しがやわらかくなって過ごしやすい季節です。紅葉や葉っぱが落ちていく様子を眺めたり、枯葉やどんぐり拾いをしたり、秋独特の色合いや落ち着いた雰囲気を感じます。冬に向かって冷たくなっていく風の温度を肌で感じます。



冬

気温が低い時期の外出は、防寒をしっかりして、昼間の温かい時間にしましょう。冷たい風に冬のしさを感ずります。葉がすっかり落ちてしまった木々の様子を眺めたり、触ったり、冬ならではの楽しみを味わいましょう。



出典：「0-3才 心と体が育つ親子遊び」

監修 秦野悦子 / Benesse

おすすめ展示図書



『すごい！ふしぎ！おもしろい！
子どもと楽しむ自然体験活動
保育力をみかくネイチャーゲーム』
神長美津子・酒井幸子・田代幸代
・山口哲也/編著/ 光生館
請求記号 376.1

乳幼児期の保育に携わる保育者に向けて、子ども
もの自然活動を楽しく展開できるよう自然体験
活動の実践例を写真を交えて紹介する。



『保育の四季- 「こころ」の成長』
神谷栄司/著 三学出版
請求記号 376.1

四季自然と物語とを題材にして、それらを
捉える子どもの内面を考察、現代における自然
の重要性、幼児の興味・欲求に対する自然
の意味を踏まえて、幼稚園5歳児組の実践を
取り上げる。



『想像力を限りなく刺激する！
子どもに体験させたい20のこと』
佐藤悦子/著 筑摩書房
請求記号 379.9

子どもが成長してゆく大切な時期に、記憶
に残る様々なことを共に楽しみたいと考えて
いる人に向けて、自然遊びをはじめ、感性や
想像力を育てる
お稽古・プログラム等を紹介する。

このリストのほかにも多数取り揃えております。ぜひ展示コーナーへお立ち寄りください。

展示図書リスト

書名	著者名	出版社	請求記号	出版年
やさしい身近な自然監査図鑑（昆虫）	坂田大輔	いかだ社	376.1 サ	2014.04
やさしい身近な自然観察図鑑 （両生類・は虫類・鳥・ほか）	里中遊歩	いかだ社	376.1 サ	2014.03
やさしい身近な自然監査図鑑（植物）	岩槻秀明	いかだ社	376.1 イ	2014.04
せり・なずな・ごぎょう・子どもら・・・ 「わんぱくくらぶ」の日々	林谷政子	リーブル	369.4 ハ	2012.10
自然植物あそび一年中-毎日の保育で豊かな自然体験！	出原 大	学研教育出版	376.1 i	2010.04
心を感じる・自然を感じる	遠山洋一	筒井書房	376.1 ト	2012.04
生きる力を育む自然の教育	佐藤朝代	ひとなる書房	376.1 サ	2013.11
遊びスイッチ、オン！脳を活性化させ、そうぞう力を育む「遊び」の効果	スチュアート・ブラウン クリスファー・ウォン 足立理英子	武蔵野バベルス	143 フ	2013.11
美しい心を育む自然観察 -野外観察ってどうすればいいの？	菅井啓之 後藤紗貴	文溪堂	375.4	2014.02
子どもをアウトドアで元気に育てる本	つるの剛士	小学館	786 ツ	2013.06
楽しい自然ウォッチング 里山 森 海 川 野外は不思議、発見がいっぱい		JTB パブリッシング	786 タ	2012.04
幼児の心とからだを育むはじめての木育	松井勅尚	黎明書房	376.1	2013.08

ちょっと一息



五感を働かせる外遊び

自然と触れ合い、関わり合いえを通して、ものを感じる力が磨かれ感受性や創造力が高まって行きます。ここでは五感を磨くような活動をいくつか紹介します。

- ・裸足で歩く 足の裏でいつもと違う地面の感触を味わう。
- ・砂を触る 砂の独特な感触に興味津々になります。
- ・寝転んで空を見る 芝生の上に親子で寝転がり空をみましよう。雲の形や鳥の動きなどを観察しましょう。親子の視線が同じになるので、感動を共有しやすいでしょう。

図書館の資料の調べ方、インターネットを活用した調べ方についてご紹介します。

1 【情報探索のキーワード】 効率的な情報検索には、適切なキーワードが必要です。

自然	野外レクリエーション	保育
家庭教育	校外指導	遊び
自然体験	発達心理	体験活動

2 【基本的な情報源】 辞書・事典類でテーマについて基本的な情報を入手しましょう。

資料情報	請求記号	配架場所
現代用語の基礎知識 2011	031 ゲ	6階
育児の基本大百科	599 イ	5階
のびのび育児百科	599 ノ	5階

◎中央図書館参考室では、育児に関する統計や白書を所蔵しています。

資料情報	分類
子ども・子育て白書 平成24年版 内閣府／編	369.4 コ
保育白書 12年版 全国保育団体連絡会／編	376.1 ホ
子どものからだと心白書 子どものからだと心・連絡会議／編	498.7 コ

3 【図書を探す】

●館内所蔵を探す

◎ テーマの棚に行って探す

図書館の本は主題ごとに棚に並んでいるので、請求記号の最初の数字を参考にして同じ主題の本を探すことができます。

分類	分野	分類	分野	分類	分野
143	発達心理	3752	校外指導	376.1	幼児教育
379.3	児童文化	599	育児	786	戸外レクリエーション

◎ 中野区立図書館利用者解放端末（OPAC）で探す。

資料のタイトル、著者名、出版社名などから、中野区立図書館所蔵の資料を検索できます。

中野区立図書館のHP <http://www3.city.tokyo-nakano.lg.jp/tosho/>

中野区立図書館 HP（携帯版） <http://www3.city.tokyo-nakano.lg.jp/tosho/i/>

● 東京都内公立図書館で所蔵されている図書を探す。

◎「東京都立図書館統合検索」 <http://www.library.metro.tokyo.jp/>

● 国内で刊行されている図書を探す。

◎「国立国会図書館サーチ」 <http://www.ndl.go.jp/>

子どもと自然体験について調べるには

◎「Books.or.jp」 <http://www.books.or.jp/>

国内で発行された入手可能な書籍が検索できます。出版社のホームページやオンライン書店へのリンクもあります。

4 【オンラインデータベースで調べる】

中央図書館では、参考資料コーナーの利用者開放インターネット端末で、以下のデータベースをご利用いただけます。

データベース	収録期間と主な内容
官報情報検索サービス	1947年5月3日から当日までの官報記事の検索
日経テレコン	1975年からの日経4紙（経済・産業・金融・流通）の記事
聞蔵Ⅱビジュアル	1926年から1945年までの朝日新聞紙面イメージ 1945年から当日までの新聞の記事 ほか
MAGAZINE PLUS	1981年からの一般紙・総合誌の雑誌記事検索や学術論文
WHO PLUS	歴史上の人物から現代の人物まで約32万人のプロフィール
D1-Law.com	判例情報、法律の改廃記録、法律判例文献情報 など

5 【インターネットを利用する】

●中野区の子育て情報を知る

◎中野区子育て情報（中野区役所）<http://www.city.tokyo-nakano.lg.jp/childcare/>

◎暮らしのガイド「子ども・教育」>「学習・遊び場・活動」（中野区役所）

<http://www.city.tokyo-nakano.lg.jp/guide/003/006/index.html>

◎こんなときには>子育て>子育て支援（中野区役所）

<http://www.city.tokyo-nakano.lg.jp/dept/102500/d007101/.html>

●類縁機関

◎中野区児童館（中野区役所）

<http://www.city.tokyo-nakano.lg.jp/dept/172000/d012426.html>

●お役立ちサイト

◎NPO法人 自然体験活動支援センター

<http://www.weasc.net/>

◎NPO法人 自然体験活動推進協議会

<http://..cone.jp/>

◎社団法人日本ネイチャーゲーム協会

<http://www.naturegame.or.jp>

◎グリーンウッド自然体験教育センター

<http://www.greenwood.or.jp>

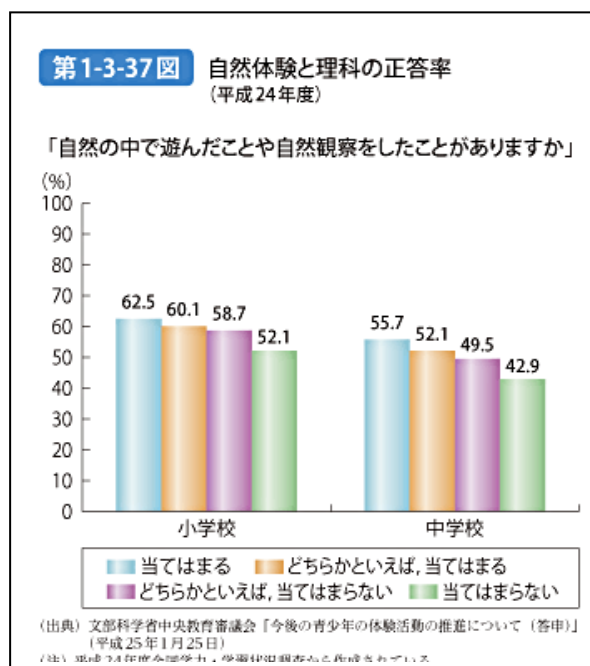
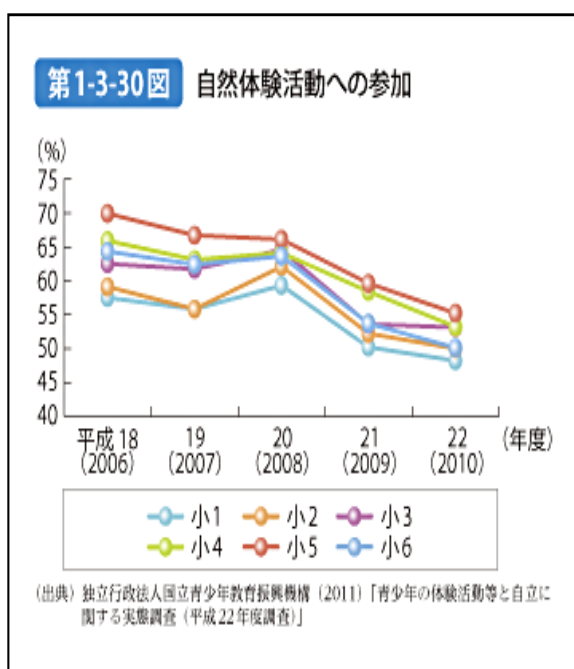
青少年期の自然体験の現状

近年、子どもの体験活動（*）の場や機会の減少が指摘されている。例えば、自然体験活動についてみると、学校以外の公的機関や民間団体等が行う自然体験活動への小学生の参加率は、どの学年でもおおむね低下しており、特に小学4～6年生は平成18（2006）年度から平成22（2010）年度にかけて10%ポイント以上低下している。（第1-3-30図）

文部科学省中央教育審議会は、平成25（2013）年1月に答申した「今後の青少年の体験活動の推進について」の中で、体験活動の意義・効果として、社会を生き抜く力の養成、規範意識や道徳心の育成、学力への好影響などを上げている。

例えば、小中学生の体験が豊富な大人ほど、意欲・関心や規範意識が高い人が多い。学力の面では、自然の中で遊んだことや自然観察をしたことがある小中学生のほうが「全国学力・学習状況調査」での理科の正答率が高い。（第1-3-37図）

*体験活動とは、文字どおり、自分の身体を通して実地に経験する活動のことであり、子どもたちがいわば身体全体で対象に働きかけ、かかわっていく活動のことである。



上記答申では、かつて多くの子どもたちは仲間とともに自然の中で遊びながら、あるいは、地域において、生活、成長していく過程で、様々な自然体験・社会体験を日常的に積み重ねて成長する機会に恵まれていたが、都市化、少子化、電子メディアの普及、地域とのつながりの希薄化といった社会の変化などにより、これまで身近にあった遊び場や体験の場や「本物」を見る機会が少なくなったこと、リスクを恐れるあまり周りの大人が子どもに対して過保護になってしまい、必要な体験活動の機会を奪っている面もあることなどが指摘されている。

出典：「平成25年版子ども・若者白書」(内閣府)